大高同窓會報

発　行
千葉県立大多喜高等学校同窓会
千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
〒298−0216　TEL 0470−82−2621
学　校HP　https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/
同窓会HP　https://dousoukai.site/otaki-h/
E-mail　otaki-h@chiba-c.ed.jp
印刷　㈱サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380

ご挨拶

同窓会長　猿田　寿男（昭42高）

大多喜高校同窓会会員の皆様におかれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、同窓会運営に多大なご協力ご支援を頂いておりますこと大変感謝申し上げます。

さて、去る４月９日は大多喜高校の入学式でした。これまではコロナ禍で参加者を制限していましたが、久し振りの晴れやかな入学式ということで参加して参りました。新入生は、４クラス132名で、担任から一人ひとり紹介され、また今年から新たに赴任された福田茂博校長の式辞があり、新入生の皆さんは、さわやかな中にきりっと緊張した態度で非常に好感の持てる雰囲気の式典でありました。

大多喜高校は、私が在学していた時代と景観などは若干異なりますけど、（私は昭和42年卒業で、当時の校舎は木造作りの今から思うと古風な建物で、また校舎の並びに沿い松並木が連なり趣のある風情を持っていました）校舎内には、生徒の皆さんの素晴らしい絵画や書道作品などの力作が展示されています。このような最近の大多喜高校の雰囲気を味わうため、同窓会総会を高校で開催するのも良いのではないかなと考えており、役員会に相談したいと思っております。

また、去る３月、私は東京六本木にある俳優座劇場で演劇を鑑賞してまいりました。劇の題名は、「あねさきの風」というもので、内容は、県立姉崎高等学校再建への挑戦のドラマです。姉崎高校は、生徒のたばこのポイ捨てや自転車盗難、万引き、ガラス破損等々生徒指導への対応に困難を極め、地域から「学校を潰せ」とか「校名に地名を使うな」とまで言われていた高校でしたが、この学校と新たに赴任した白鳥校長が、教職員とともに様々な改革を実行し、特に地元の女性実業家の支援も受けながら、３年間で学校の正常化を蘇らせたという劇であります。

私は、久し振りの演劇鑑賞でしたが、出演者の藤崎卓也や、藤田朋子などの熱のこもった演技に圧倒されるとともに映画などでは見られない生の迫力に惜しみない拍手を送りました。

ところで、このところ日本列島は地震が多くなってきたなと思っておりましたが、１月には、能登半島にマグニチュード７．６、最大震度７の地震が発生し大災害をもたらしました。現在も未だその爪痕が残っています。私も過去何回か、能登半島へ旅行や出張で行きましたが、特に輪島の朝市は、趣があり、さすがに日本の３大朝市の一つに数えられるものだなと思いました。輪島塗はちょっと高価で私のサラリーでは手が出ませんでしたが、この輪島地区があの地震に伴う大火災で一気に消失してしまったことは、誠に残念としか言いようがありません。早く立ち直ってまた素晴らしい輪島朝市を再興せられんことを祈っております。

その後、４月には、南海トラフに近い豊後水道を震源とする強い地震があり、愛媛県・高知県に不気味な影響が見られました。

何れにしても首都圏直下地震や、南海トラフ地震などが、近いうちに襲ってくることは間違いありません。我々も、日々防災対策に心を配りましょう。また、今年の夏は猛暑が続くとの予報でありますが、世界的にも猛暑・洪水・山林火災・火山噴火・地震などが各地で起こっています。まさに、この数十年来の我々人類の無謀ともいえる開発や環境破壊に対する地球からの反撃ではないかと思わざるを得ません。またウクライナとロシアの戦争、イスラエルとパレスチナの紛争で世界は混沌としておりますが、早く平和と安定を取り戻すよう祈っております。

最後に、福田校長先生をはじめ、諸先生方の教育に対する情熱に感謝申し上げますとともに、同窓会会員の皆様のご健勝、ご活躍、また引き続きの母校への応援をお願い申し上げ挨拶といたします。

「生徒を主語にした」高校教育の実現に向けて

校長　福田　茂博（昭59高）

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に御理解と御支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。本年４月に前任の中間芳秀先生より校長職の襷（たすき）を託されました。「超少子化」や「人口減少」等、地域を取り巻く状況は決して明るくはありませんが、母校発展のため粉骨砕身の覚悟で臨む所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、千葉県内の公立高校の総数も前述のとおり、平成５年の189校（全日制）をピークに学校間の統廃合が繰り返された結果、この30年の間に68校もの校名が姿を消し、今や121校まで減少しています。また、都市部を除いた人口減少の区域では、１学年３クラス規模（定員募集120名）の小規模校10校を含め、県は引き続き高校再編の過程で、各地区の中学校卒業者数の推移を見極めながら、高校の学級減を推し進めています。この夷隅の地にも、かつて各地区に拠点した６校の県立高校が２校となり、本校もクラス減と憂き目に遭っております。

社会全体での少子化が進行し、高校が多様なニーズを迫られる中、文科省では、「生徒を主語にした」高校教育の取り組みを提言しています。15歳人口の減少が一層加速する地域では、小規模校の教育条件を改善するため、〇学校の特色化・魅力化　〇学校と地域社会の連携・協働等、具体的方策を挙げています。それに従い千葉県教育委員会では、普通科高校魅力化に向けた５つの施策を掲げました。本校で４月より開設された「教員基礎コース」設置は、その１つに数えられます。

また、地域との連携強化では、「大多喜高校魅力化コンソーシアム会議」を年３回開催し、本校の魅力を発信しながらその目的を安定した定員確保に努めることとしています。この会は、大多喜町を中心とした本校支援組織から発展したもので、いすみ市・勝浦市・御宿町の行政、小学校、中学校、大学、地元企業を含めた20を超える団体で構成されており、生徒の取り組みについて様々な分野から提言をいただき、魅力化に向け改善に繋げている次第です。

４月より赴任し、様々な方々とのお話しを伺う中で、改めて大多喜町の持つポテンシャルの高さに驚嘆するばかりです。奥ゆかしく、控えめで謙虚であるといった日本古来の美学が人にも物にもこの町には溢れています。創立124年という歴史もその美学に育まれてきた証でしょう。

令和の時代になり、世界情勢が激変する中、今こそ大多喜の持つ底力を知らしめる時です。県教委が本校を「地域創生リーダーの育成」指定校と認定したのも先達の功績が評価された必然のことと言えます。

学校での教育活動を通して、生徒たちが核となり大多喜城下で育まれた素晴らしい伝統や、人の持つ心の美しさを外部へ発信し、地域創生の一翼を担い、更には次代のリーダーとなり得るよう学校として一丸となり邁進してまいります。

どうぞ、引き続き、同窓生の皆様の御支援御協力をお願いいたします。

「大多喜高校を応援する会」の設立について

同窓会元副会長　加藤　茂範（昭45高）

同窓会報前々号（第26号）で、「千葉県の県立高校改革の動向と過疎地域における県立高校の役割」のテーマで、過疎地域における県立高校の役割の重要性について、述べました。

県教育委員会は、2022（令和４）年３月策定の「県立高校改革推進プラン」を踏まえ、今後の県立高校改革を推進する予定です。大多喜高校の存続と発展を目的に、有志10名ほどで「大多喜高校を応援する会」（以下、「本会」という。）を設立しました。現在までに、18回ほど会合を持ち、大多喜町への協力依頼・講演会の開催等を行ってきました。会員数は大多喜町住民だけではなく近隣市町住民も含め、また、幅広い年代に浸透し増加しています。これも地域に県立高校がなくなれば、地域の将来展望が描けず、過疎化が一層進むことへの危機感があるからだと思います。以下、『』内が本会の設立趣意書です。

『大多喜高校は、ここ数年、入学者数が募集定員を下回っております。私たちは、大多喜高校の存続に強い危機感をいだいています。1947（昭和22）年の大多喜町の人口は20,431人でしたが、現在は8,500人を下回っています。この間、かつて町内に存在していた小学校は５校から２校に、中学校も３校から１校に減りました。2004（平成16）年には大多喜高校と大多喜女子高校が統合され、６校あった夷隅郡市の高校は２校になってしまいました。大多喜高校が統合により無くなると、次のようなことが心配されます。

１．通学時間が増して、学業や部活動に影響が生じ、さらに保護者の経済的負担も増える。

２．大多喜町の経済活動に影響し、周辺市町を含む交通機関の不便さも増す。

３．中学生が多様なタイプの学校を選択できなくなる。

４．地域の将来を担う若者を育てられない。地元の生徒は、極力地元で育てる姿勢が大切である。

５．長期的には、地域の定住人口の減少を招き、一層過疎化が進む。

大多喜高校は旧大多喜藩の城内にあります。南には御禁止（おとめ）川が流れ、西側の大多喜城址（現在「千葉県立中央博物館大多喜城分館」設置）に登れば、東に町並みといすみ鉄道を眺めることができ、校内には薬医門、大井戸、桜並木があって伝統を醸し出しています。こうした環境のなかで学ぶ３年間は、豊かな人間性を育みます。大多喜高校は、1900（明治33）年に県下三番目の旧制中学校として創設されて以降、多くの有為な人材を育ててきました。この歴史と伝統を受け継ぎ、一層発展させていかなければなりません。さらに、千葉県全体の均衡ある発展と教育の機会均等の原則を踏まえた過疎地域にふさわしい県立高校の存続は必要です。私たちは、大多喜高校の存続と発展を願い、「大多喜高校を応援する会」を設立しました。多くの皆様にこの趣旨をご理解賜れば幸いです。

2022（令和４）年７月

発起人一同』

設立趣意書で述べている通り、日本国憲法や教育基本法を根拠とする「教育の機会均等の原則」すなわち人は、どこに生まれ生活していようとも、能力に応じて等しく教育を受ける機会を与えられなければなりません。また、千葉県全体の均衡ある発展の観点からも過疎地域にふさわしい特色や整備された施設を持つ県立高校の存続は、必要です。

現在、高校は１学級当たりの定員を40名としていますが、「過疎地特例」で、これを30名とすれば、大多喜高校は定員割れをしません。また、2021（令和３）年度、夷隅郡市の小学１年生は、366名ほどで、９年後高校に進学します。この子どもたちが、経済的負担が少なくてすむ身近でタイプの異なる高校選択が可能となるよう夷隅郡市には、大多喜高校と大原高校の存続は、大切です。

本会は、今後大多喜町や近隣市町の住民への理解と協力の要請及び大多喜高校同窓会との連携の強化を踏まえて活動していきます。

本会幹事　根本　年生　　　　　（大多喜町町議会議員）
本会幹事　森　　久（昭44高）（大多喜町町議会議員）

本会への問い合わせ及び入会希望の方は、以下にお願いします。

大多喜高校を応援する会事務局

住　所：〒298-0216
　　　　千葉県夷隅郡大多喜町大多喜382
電　話：090-6124-8097
E-mail：vzt00617@nifty.com

情報提供をお願いします

作家・評論家　江澤　誠（昭43高）

同窓会の皆さま、いつもお世話になっております。昭和43年、第20回卒業の江澤誠です。

昨年の同窓会報で、房総半島に戦時中墜落した米軍機B29と捕虜の情報提供を求めましたところ、当時大多喜国民学校に通っていた第６回（昭和29年３月）卒業生の方から、捕虜を見たという体験談をお寄せいただきました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

引き続き今回も紙面をお借りし、次の２点について情報提供をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

１．大多喜中学校（高等学校）では、大正15（末）年から昭和２年にかけて、生徒によるストライキが起こりました。この大多喜中学校事件については、大多喜高等学校社会クラブが1977（昭和52）年から翌年にかけて調査を行っています。皆さまのなかで、この調査結果（報告書）を所有しているか、あるいはご存知の方はいらっしゃらないでしょうか。

２．俳人正岡子規が房総に旅行した際、大多喜に泊まっています（明治23年）。大多喜のまちなか、新丁に、「恵比寿屋」から「豊の鶴酒造」方向に向かい、そこで左に曲がって７～８軒先、現在の新聞販売店や歯科医院あたりにあった「藤本旅館」（戦後に廃業）の連絡先をご存知の方はいらっしゃらないでしょうか。また、その隣にあった「サカエヤ」というのは、どういう店だったのかも知りたいです。

以上、ご協力をいただければ幸いです。下記メールか電話で、どうかよろしくお願い申し上げます。

メールアドレス ezawa@mvf.biglobe.ne.jp
電話 080-6555-8160

それでは、皆さまご自愛専一に、ご多幸をお祈りしております。

令和５年度進路状況報告

進路指導主事　山仲　俊一郎

卒業生総数111名の進路決定状況としては、大学が全体の約59.5％、短大が約4.5％、専門学校が約26.1％、就職（含公務員）が約7.2％という割合になった。過去２年と比較すると、４年制大の割合（Ｒ４年度62％、Ｒ３年度49％）は、一昨年度より上昇し、昨年度より減少していることから、学年によって多少の差があることがわかる。就職の割合（Ｒ４年度6.7、Ｒ３年度9.9％）は一昨年より減少し、昨年度より上昇していることから、こちらもその学年によって多少の差があることがわかる。

大学に関しては、昨年に比べ、一般受験者の割合は変わらなかったが､学校推薦型（指定校推薦）での受験者が増え（Ｒ３年度48.6％→Ｒ４年度57.6％→Ｒ５年度60.6％）、いわゆる年内入試の傾向が顕著に見られた。今後ともこの割合が加速する可能性が大いにある中、指定校枠も年々減ってきてしまっているのが現状である。

国公立大学には、４名の合格者が出た。最後まで粘り強く受験勉強に向き合った結果が合格をもぎ取ることが出来た要因であろう。過去２年を比較すると、合格者数は上昇した。（Ｒ３年度３名、Ｒ４年度２名※いずれも現役合格者数）。

就職に関しては、例年どおりの求人数があり、１名であるが無事内定を頂けた。また、公務員では複数の自治体で合格者が生まれた。国家公務員の合格は十数年ぶりである。大多喜町役場には本年度も採用して頂けた。

各自が進路実現に向けてよく努力をし、多くが希望進路を実現させた。生徒自身の粘り強さ、保護者のご支援、学年・担任団のきめ細やかな指導の賜であるといえる。

令和５年度卒業生主な進路実績

［４年制大学］（国公立・私大50音順）

秋田公立美術大・茨城大・千葉県立保健医療大・千葉大・植草学園大・神奈川大・亀田医療大・神田外語大・京都芸術大・敬愛大・工学院大・國學院大・国際医療福祉大・国士舘大・駒澤大・淑徳大・城西国際大・城西大・女子栄養大・拓殖大・千葉工業大・千葉商科大・中央大・帝京平成大・東京医療保健大・東京家政大・東京情報大・東京成徳大・東京理科大・東邦大・二松学舎大・日本体育大・日本大・法政大・武蔵大・目白大・立正大・和洋女子大

［短期大学］（50音順）

千葉敬愛短大・千葉経済短大・新渡戸文化短大・ヤマザキ動物看護専門職短大・千葉職業能力開発短期大学校

［専門学校］（順不同）

大原簿記公務員専門・亀田医療技術専門・ジェイヘアメイク美容専門・首都医校・杉野学園ドレスメーカー学院・専門学校国際理工カレッジ・専門学校ちば愛犬動物フラワー学園・専門学校千葉デザイナー学院・専門学校東京デザイナー学院・専門学校日本デザイナー学院・千葉ビューティー＆ブライダル専門・千葉リゾート＆スポーツ専門・東京医薬看護専門学校・東京スイーツ＆カフェ専門学校・東京スクールオブミュージック＆ダンス専門学校・東京モード学園・東洋理容美容専門学校・日本自動車大学校・ハッピー製菓調理専門学校・船橋情報ビジネス専門学校・八千代リハビリテーション学院

［公務員・民間就職］（順不同）

大多喜町役場・いすみ市役所・国家公務員・千葉県職員・長南町役場・陸上自衛隊一般曹候補生・沢井製薬株式会社

◇令和５年度卒業生進路状況

	大学		短大		専門学校	就職		浪人・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間・自営	公務員		
男	1	35	0	1	13	0	4	2	56
女	3	27	0	4	16	1	3	1	55
計	4	62	0	5	29	1	7	3	111

教員基礎コース始まる
～地域に貢献する人材育成に向けて～

県立高校改革推進プランの第１次実施プログラムで、本校は今年度から教員基礎コースが設置されました｡これまで教育現場で活躍している人材を多く輩出し、教育系を志望する生徒も多くいます｡そこで、令和４年度から年間で12回程度の講座を開設し､母校の小中学校や保育所､特別支援学校での実習体験､高大連携大学による専門的な特別講義を受け､進路意識を醸成してきました｡昨年度の受講生は35名、うち３年生は大学や短期大学等の教育関係学部学科に進学し、千葉大学教育学部合格者もいます。

今年度、53名が教員基礎Ⅰ（33名）、教員基礎Ⅱ（20名）の科目を受講しています。

教員基礎Ⅱは６月､教員基礎Ⅰは７月に保育所､小中学校、９月に特別支援学校で実習を行い、教員の魅力ややりがいを体感しました。

また、本校卒業生で、現場で活躍する先輩を講師に、授業づくりや今日的教育課題の解決を目指す授業にも取り組みました｡今後、千葉大学との連携、教員採用選考での採用枠の設定等、教員基礎コースの支援を強化していきます｡『地元の教育で育った生徒が､未来の地元の子どもたちの教育を担う人材』として地域に貢献できるように育成に努め、さらに本校の魅力ある学校づくりを推進してまいります。

令和4年度　同窓会決算書

【一般会計】

収入総額　4,077,125円
支出総額　1,771,017円
差引残額　2,306,108円（次年度へ繰越）

収入の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	説　明
繰越金	2,201,507	2,201,507	0	令和３年度繰越金
入会金	745,000	740,000	△5,000	5,000円×148名
賛助金	900,000	1,085,604	185,604	同窓会報発行賛助金
雑収入	15	50,014	49,999	寄付金、預金利息
計	3,846,522	4,077,125	230,603	

支出の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	残　額	説　明
会議費	300,000	57,822	242,178	総会補助、役員会費
運営費	300,000	108,027	191,973	事務費、通信費、慶弔費
活動費	600,000	299,166	300,834	支部活動費
広報費	2,000,000	1,306,002	693,998	同窓会報発行代
予備費	646,522	0	646,522	
計	3,846,522	1,771,017	2,075,505	

監　査　報　告　書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和５年10月３日

監　事　菰　田　　稔　㊞

監　事　地　引　敬　次　㊞

【特別会計】

収入総額　3,727,773円
支出総額　0円
差引残額　3,727,773円（次年度へ繰越）

収入の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	説　明
繰越金	3,727,741	3,727,741	0	令和３年度繰越金
雑収入	80	32	△48	預金利息
計	3,727,821	3,727,773	△48	

支出の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	残　額	説　明
繰出金	0	0	0	
予備費	3,727,821	0	3,727,821	
計	3,727,821	0	3,727,821	

監　査　報　告　書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和５年９月６日

監　事　菰　田　　稔　㊞

監　事　地　引　敬　次　㊞

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481　TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は㈱サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会　長	猿田　寿男（昭42高）	
副会長	福山　悦男（昭29高）	
	近藤　万芳（昭32高）	
	太田　洋（昭41高）	
	中村美智子（昭49女）	
	太田　雅彦（昭59高）	
	田中　憲一（昭61高）	
監　事（会計監査）	地引　敬次（昭41高）	
	菰田　稔（昭45高）	
顧　問	齋藤　萬祐（昭32高）	
	山口　登（昭37高）	
支部長	大多喜	花﨑　喜好（昭47高）
	大原	青柳　英俊（昭38高）
	勝浦	竹下　正男（昭47高）
	茂原	
	千葉（千葉大高会）	福山　悦男（昭29高）
	岬	橋本　正志（昭44高）
	女子高	中村美智子（昭49女）
	御宿	渡邉　一義（昭44高）

【支部長は各支部で選出していただいています。】

事務局だより

令和６年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時　9月28日（土）

場所　**総会**　大多喜高校視聴覚教室　午前10時～
懇親会　大屋旅館（大多喜町新丁64）　12時30分～

会費　5,000円

※御参加の場合は9月13日までに事務局まで御連絡ください。

お問い合わせ、お申し込みは、下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621

（大多喜高校内・同窓会事務局）

TOPICS 話　題

今年度（令和６年度）から同窓会総会を学校で行うことになりました。これまで総会に参加したことのない方々も懐かしい校舎で行いますので積極的にご参加ください。

岬支部、経友会から今年度も寄付を頂きました。いつもありがとうございます。

令和５年度

本校の「総合的な探究の時間」の取組みやいすみ鉄道への支援活動、また、様々な大学との高大連携や今年度から本格的に開設される教員基礎コースの様子が新聞などに取り上げられました。新しい取組みも始まり、今後も積極的に取組んで行きます。